

- (一) 八日一〇〇〇丙號戰備下令セラル
- (二) 部隊ハ師團防衛要領丙號戰備ニ據リ行動セントス
- (三) 各隊ハ概テ現態勢ノ儘對空射擊部隊ノ配置ニ據リ準備スルト共ニ燈火警戒管制ヲ實施スベシ
- (四) 山七六深作命第三一號要旨
- (一) 山七六作命第四〇號ニ基キ師團防衛要領丙號戰備ノ要領ニ據リ行動セントス
- (二) 各作業隊長ハ對空射擊部隊トシテ隨時射撃ニ得ル如ク一ヶ小隊ヲ準備シアルベシ
- (三) 東恩納作業隊長ハ晝間對空監視哨ヲ配置シ對空監視ニ任セシムベシ

命令  
丙號戰備

- 四 各隊ハ不寢番守則ノ一項ニ對空監視(持ニ音響器ニ注意)ノ任務ヲ附與シ警戒ヲ嚴ニスベシ
- 五 右ニ基ク中隊命令
- (一) 稻井小隊ハ山七六深作命第三一號ニ基ク對空射擊部隊トシテ隨時射撃ニ得ル如ク準備シアルベシ
- (二) 西尾上等兵以下四名頭ニテ間對空監視哨トシテ八九ニ高地ニ位置シ警戒ニ任ズベシ
- (三) 築城實施ニ當リテ八個人裝備彈藥ヲ作業場ニ携帶シ有事即應ノ準備ヲ為シアルベシ

十月九日 晴

出張

一、丙號戰備ニ於テ築城作業ヲ實施ス  
二、中隊長 築城班ニ初年兵入隊ニ関スル中隊長  
會同ノ夕ノ平良川 聯隊本部ニ出張シ即  
日皎隊ス

命令

三、山七六深作命第三二號別紙第一ノ如シ  
四、第一次築城モ逐次完成シ更ニ新夕ナル計  
畫ニ基キ看々第二次築城ヲ準備シツ、ア  
リ

十月十日 晴後曇

一、〇五〇〇對空監視哨ヲ立哨セシメ〇五三〇

對空監視

二、對空監視哨報告  
丙號戰備下ニ在リテ築城作業ニ出場ス

配備

(一) 〇六一〇 伊計島方向爆音聞ユ  
(二) 〇六二〇 彼我不明機一二高度約三千伊  
計島方向ヨリ嘉手納方向ニ飛行中  
三、間モナク高射砲彈ノ裂烈スルヲ發見敵  
機ト判定シ中隊ハ八九二三高地ノ既成陣  
地ニ着キ對空警戒班ニ對空射撃ヲ準備  
シ地方民ノ指導ヲ實施ス  
松田曹長傳令一名ヲ伴ヒ楚南大隊本部ニ  
命令受領ニ至ラシム

空襲

四、逐次上空ノ透視スルヲ得レハ高々度ニ於テ  
無敵ノ敵機來襲西方ニ移動ス  
中及北飛行場ハ該編隊ヲ以テ急降下爆

命令五

發音ト共ニ黒煙天ニ柱スルヲ見ル

山七六作命第四一號要旨

(一) 敵八目下那霸及北中西飛行場附近ニ對シ  
來襲ニアリ師團八〇六五〇乙號戰備ヲ  
令セラル

(二) 部隊ハ直ニ乙號戰備ノ態勢ヲ整備セシ  
トス

(三) 各隊ハ現位置ニ於テ速ニ乙號戰備態  
勢ニ著アベシ

其他者畧

六八時三十分敵四及至五機ノ編隊ヲ以テ石川  
東恩納附近ニ低空ニ来ル石川ニ對地射  
撃及爆彈落下 昆布擔任陣地附近ニ爆  
彈落下直ニ中野小隊ヲ以テ調査セルモ

損害ヲ認メズ

七二二六 敵機約三〇〇東南ヨリ北西ニ飛行ス

八 曹長松田若樹一三〇〇平良川聯隊本部ニ  
於ケル 經理會報ニ出張即日敵隊ス

出張

命令九 山七六作命第四二號要旨

(一) 一六〇頃以來管内上空ニ敵機影ヲ見ガ  
ルモ敵機動部隊ノ其ノ後ノ狀況ハ目下尙  
明ナラス師團八乙號戰備態勢ヲ愈々  
強化スルト共ニ本夜軍需品ノ分散格納其  
他ノ築城ヲ速ニ實施ス

(二) 部隊ハ乙號戰備態勢ヲ強化スルト共ニ師  
團ノ企圖ニ基キ所要ノ築城ニ邁進セントス

(三) 各隊ハ本夜間ヲ利用シ軍需品ノ分散格納  
掩壕竝ニ偽陣地ノ構築及既設陣地竝ニ軍